

第1回 高齢運転者対策・第二種免許等の受験資格に関する有識者会議 議事概要

1. 開催日時等

・開催日時：令和2年4月28日（火）

・有識者委員

早稲田大学名誉教授 石田敏郎（座長）

兵庫県指定自動車教習所協会会長 有馬洋一

モータージャーナリスト 岩貞るみこ

たじみ岩瀬眼科院長（名古屋大学未来社会創造機構客員教授） 岩瀬愛子

東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 鎌田実

武蔵境自動車教習所副管理者 河内勝良

三重県指定自動車教習所協会会長 櫛田浩哉

鎌ヶ谷自動車学校副管理者 工藤和男

マッキンゼー&カンパニー シニアパートナー 小松原正浩

お多福もの忘れクリニック院長 本間昭

東京都市大学理工学部教授 槇徹雄

埼玉県指定自動車教習所協会会長 町田新一郎

平和橋自動車教習所副管理者 山口博行

全日本指定自動車教習所協会連合会専務理事 横山雅之

警察庁交通局運転免許課長

警察庁交通局運転免許課高齢運転者等支援室長

2. 議事

2.1. 開催方法

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を計る観点から、各委員に対して、事務局より会議資料を送付した上で、意見を取りまとめた。

2.2. 議事

2.2.1. 会議の運営について

「高齢運転者対策・第二種免許等の受験資格に関する有識者会議の運営について」を決定し、本有識者会議の座長に石田敏郎委員を選任した。

2.2.2. 各委員からの意見

各委員からの主な意見等については、次のとおり。

【運転技能検査について】

- ・一時不停止や注意確認が不十分であることなどは、運転習慣に関わるものであり、教育によりある程度是正が可能であるが、教育効果が無ければ不合格とする方向でよいのではないか。
- ・段差乗り上げは、高齢者講習の実車指導においても短時間で上達が見られる課題である。合格基準については、実車指導に携わっている高齢者講習指導員の意見を聞いて策定するのが良いのではないか。
- ・低速走行の場合は問題が無くても、スピードを出すとハンドル操作が遅れて危険というケースをうまく評価できるのか、議論が必要である。
- ・実施体制の観点からは、高齢者講習指導員が運転技能検査を実施できるようにすることが好ましい。
- ・運転技能検査の内容については、受検者が極度の緊張に陥ることも予想されることから、検査中の事故や、突発的な身体異常等の方が一の事態を想定した内容とすべきではないか。
- ・運転技能検査の対象者を違反歴でスクリーニングした場合、運転技能検査の対象者よりも、高齢者講習の実車指導の対象となる者の方が、運転技能が低い者が多く含まれるのではないか。実車指導において運転技能検査と同様の評価を行えば、かなりの割合が運転技能検査であれば不合格相当の結果となり、検査か実車指導かで結果が異なるという点で不公平感が出るのではないか。

- ・認知機能の低下が原因で運転技能検査に合格できない者が、運転技能検査を何度も受検するのは非効率的であるので、認知機能検査を先に実施し、その後で運転技能検査を受検することとすべきではないか。

【第二種免許等の受験資格について】

- ・受験資格特例教習は、幅広く指定自動車教習所で実施できるようにすることで、全国で使われる制度とすべきではないか。

【新たな認知機能検査について】

- ・効率化を目的に認知機能検査をタブレットで実施する場合、高齢運転者がタブレットを使いこなせなければ逆効果ではないか。
- ・タブレットによる認知機能検査の試行実施と、認知機能検査の簡素化の検討を並行して行うのであれば、タブレットによる認知機能検査の試行実施を行う時点で、簡素化された内容の認知機能検査をタブレットで実施し、その運用上の課題を洗い出す方が効率的ではないか。

(以上)